

令和5年6月24日（土曜日）

体育祭競技の「先生運び」を楽しむ盛岡二高の生徒たち 23日、盛岡市上ノ橋町



## クラスの絆に身を預け

### 盛岡二高体育祭「先生運び」

県内で高校の体育祭がピークを迎えている。盛岡二高（鈴木広樹校長、生徒555人）では23日、教員を毛布に乗せてゴールを目指す恒例の「先生運び」を行い、生徒の笑みがはじけた。

学級ごとに趣向を凝らしたそろいのTシャツを

着て、球技やリレーなど多彩な競技に臨んだ生徒たち。一番の盛り上がりとなった先生運びでは、6人一組が息を合わせて駆け抜ける姿に歓声が上がった。

同校によると、少なくとも20年ほど続く花形競技。佐藤みなみさん（3年）は「一丸で取り組み、級友との絆がさらに深まった」と声を弾ませた。

新型コロナウイルス禍で近年は広いスペースを確保できる校外の施設で体育祭を行っていたが、4年ぶりに同校で実施した。

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。